横浜市立 今宿中学校　　令和　7　－　9　年度版　　中期学校経営方針

学校教育目標	『自ら学び　人や社会とつながり　よりよい未来をともに創る人』 (知)自ら考える　基礎的・基本的な知識をもとに、自ら課題を見つけ、課題を解決する力を育てます (徳)互いを認め合う　物事を多面的・多角的に考え、自分と他者を尊重し互いの良さを認め合う心を育てます (体)健康的に生きる　命の大切さを学び、自分の心と体を大切にして、健康的に生きる力を育てます (公)人や社会とつながる　公共心や地域貢献する意識を育て、人や社会とのつながりを大切にして協働する力を育てます (開)よりよい未来を築く　多様性を尊重し、よりよい未来をともに築いていく力を育てます

学校概要					
創立　47　周年	学校長　片野　嘉昭	副校長　近藤　啓太　加藤　純	3　学期制	一般学級：　12	個別支援学級：　5
児童生徒数：　443　人	主な関係校：　今宿小学校　今宿南小学校　都岡小学校　白根小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
○課題解決能力の育成 ○自分づくりに関する力の育成

今宿中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
今宿中学校 今宿小学校 今宿南小学校	自ら学び　人や社会とつながり　よりよい未来をともに創る人 ・児童生徒指導や特別支援教育での指導や支援の一貫性と充実を図る。 ・ブロック内で「主体的・対話的で深い学び」の授業の実践を推進する。 ・研修会では、児童・生徒の実状を共有し、指導の重点等の相互理解を深める。 ・児童会、生徒会、部活動、地域交流等における児童・生徒の交流を推進する。

中期取組目標
○諸調査や学習評価等のデータを生かして主体的に学び、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、それらを活用して課題を解決する力を育成します。 ○情報を適切に収集して物事を多面的・多角的に考え、他者を尊重するとともに自分を伸ばす努力をする力を育成します。 ○心と体を大切にすることを学び、総合的に健康を保持増進し、心身ともにたくましく生きる力を育成します。 ○コミュニケーションを大切にして、人と積極的に関わり、協力し合い、協働・協調する力を育成します。 ○安心して対話できる人間関係を形成し、将来や未来について考え、表現することで自己実現を図ろうとする力を育成します。

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①すべての生徒にとって「わかる・できる」を目指した授業のユニバーサルデザイン化やICTの活用を進めます。②学習習慣を確立させ、基礎学力の定着や課題解決能力の向上を目指して、学習支援や学習評価方法の改善を図ります。
担当	学習指	
徳	豊かな心	①道徳授業では、体験的な活動や生徒の実態に即した教材を取り入れ、安心できる環境の中で考え議論し合う道徳の実現を目指します。②YPアセスメント等を活用し、生徒の実態をしっかりととらえ、グループワークや協働活動を通して、集団や社会における生活および人間関係の形成を図ろうとする態度を育成します。
担当	各学年・生活指	
体	健やかな体	①新体力テストの結果を生かして個々に目標を設定させ、一校一実践運動の「補強運動」を通して基礎体力や運動技能の向上を目指すよう支援していきます。②規則正しい生活をはかり、中学校給食等を通してバランスのとれた食生活への意識を向上させます。
担当	保体科・保健安全指	
公開	自分づくり教育	①3年間を見通したキャリア教育や体験的な活動を通して、自己理解、自己受容をはかり、個々の目標に向けて努力できるよう支援します。②校外学習などを通して探究的な学習に取り組ませ、「課題設定能力」、「問題解決能力」を育成し、自己の生き方を考えることができるように支援します。
担当	総合係・各学年	
いじめへの対応		①「ブロック 子ども会議」をはじめ、生徒が主体的にいじめ防止へ取り組む自治活動を推進します。②年2回のYPアセスメントや年5回のいじめ防止アンケート、年3回の教育相談等をはじめ、的確な生徒の見取りをはかり、いじめの早期発見に努めます。③いじめ防止対策委員会の組織的対応を施し、いじめに迅速かつ丁寧に、保護者と連携して、継続的に支援・指導します。
担当	特活指、いじめ防止対策委・生活指	
人材育成・組織運営(働き方)		①5年次未満の教師を中心にメンターチームを組織し、教科指導、生徒指導、学級経営等のスキルアップ研修を行う機会を設定します。②教育課程委員会で教育課程全般を研究し、時間対効果をふまえた学校運営や学校の組織体制の維持・発展を目指します。③すぐーるおよび各拡張機能を生かし、より確かで効率の良い情報交換を目指します。
担当	メンター委・教育課程委・GIGA	
特別支援教育		①支援計画や指導計画を作成、活用して、特別支援教育Coと生活指導部の連携のもと、困っている生徒に対し丁寧に寄り添い、支援策を協議、実践していきます。②スタディルーム(特別支援教室)では、生徒本人及び保護者の意向を尊重しながら、学習支援や不登校支援を計画的に実施していきます。
担当	生活指・各学年	
生徒指導		①生徒主体の集会をはじめ、問題が起きにくい風土や問題を回避できる児童生徒を育てる活動を進めていきます。②スタナビの他継続的な生徒の見守りや連絡など正確な見取りと関係づくりを施し、普段からの生徒・保護者との信頼関係を構築します。③報・連・相および記録などを徹底し、確実な情報共有のもと、組織的対応をはかります。
担当	特活指・各学年・生活指	
地域との協働		①地域の一員としての自覚をもち、地域防災訓練や地域行事、ボラ活や地域清掃などの機会を大切にする心を育てます。②地域人材を教科学習や行事、ボランティア活動部の運営に生かし、持続可能な地域協働活動への位置づけをはかります。③学校を正しく理解してもらう情報発信を進めます。
担当	学運協・地学協活・学家地	
小中一貫教育		①小中での授業研究や情報交換を積極的に行い、小中一貫教育の推進を図ります。②「ブロック子ども会議」を実施し、中学校区で共通の取組を実践することで、児童・生徒の主体性を育てるとともに、小中合同でのあいさつ運動を通して、協働する気持ちや豊かな心の育成を目指します。
担当	小中一貫担当	